

岡山県学生献血推進連盟 “S.B.D.Momo”の取り組み



阿部 雅菜
川崎医療短期大学/岡山県学生献血推進連盟“S.B.D.Momo”

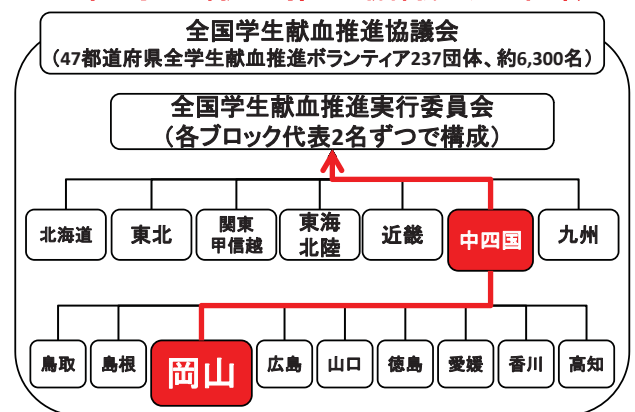
はじめに

日本の血液事業は、毎日約15,000人ももの献血者に支えられている。
近年の少子高齢化の影響により、輸血を必要とする高齢者は増加しているが、若年層の献血者は減少している。
そのため、血液事業においては「若年層献血推進」が最重要課題となっている。
本日は、私たち学生ボランティアの特に若年層を中心とした「新規・複数回献血者」確保のための取り組みを紹介する。

学生ボランティアの歴史

全国	岡山県
1960年 青少年赤十字が献血の呼びかけ	
1962年 「日本赤十字献血学生連盟」結成	
1966年 全国統一大会	全国統一大会に参加
1985年 全国学生献血推進リーダー研修会	
1988年 全国学生クリスマス献血キャンペーン	「岡山県学生献血推進連盟」発足 全国学生クリスマス献血キャンペーン実施
2000年	中国四国学生統一献血キャンペーン実施
2001年 全国学生・献血推進団体との交流研修会	岡山県学生献血推進連盟 “S.B.D.Momo”へ名称変更
2002年 「全国学生献血推進実行委員会」発足	
2005年 全国学生献血推進協議会代表者会議開催	
2006年 全国学生献血推進実行委員会規約施行	
2012年	キッズ献血を実施
2014年	Let's TRY MOGI献血を実施

全国学生献血推進協議会の組織



S.B.D.Momoの活動

【目的】

若年層を中心とした献血者の確保および献血思想の普及のための意見交換や探求をすること

【内容】

- ① 定例会・研修会
- ② 各種会議
- ③ 各種献血キャンペーン
- ④ 学内献血
- ⑤ 街頭献血(キャンペーン以外)
- ⑥ 広報活動
- ⑦ 模擬献血イベント



定例会・研修会

【目的】

若年層献血者確保のための学生連盟組織全体の知識向上及びメンバー間の親睦を深めること

【内容】

- 赤十字・献血についての研修
- キャンペーンの準備・検証
- 代表者会議やイベントの報告
- 一次救命処置
- 気分不良発生時の対応
- グループワーク(分科会)



S.B.D.Momo主体キャンペーン

春 晴れの国献血キャンペーン



夏 中国四国学生統一献血キャンペーン

秋 わくわく献血キャンペーン

冬 全国学生クリスマス献血キャンペーン

冬 全国学生クリスマス献血キャンペーン

【目的】

冬場の献血者増加及び献血運動の一層の推進を図る。

サンタ服を着用!

【内容】

- 献血協力への呼びかけ
- 献血者の誘導
- 「Blood For You」の実施
(献血へ込めた想い)



キッズ献血



キッズ献血 (小学生以下)

【目的】

献血疑似体験を通して、献血年齢に満たない年齢層へ献血に関する普及啓発を行うこと

【内容】

- 白衣・看護衣を着用して参加者の受入
(受付、問診、事前検査、採血、カード発行)
- イベント参加への呼びかけ
- 着ぐるみ着用による啓発
- パネル等展示
- キッズドクター・キッズナース



Let's Try
MOGI 献血



受付



問診



模擬休憩・キッズ献血カード発行



パネル展示



事前検査



採血

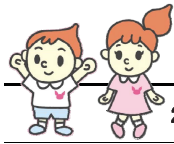


キッズドクター



キッズナース





キッズ献血実績

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実施回数	1回	3回	3回	5回	2回
実施日数	2日	5日	4日	7日	2日
参加者数 (延べ)	1,186名	1,642名	963名	2,033名	358名
参加学生数 (延べ)	33名	147名	92名	179名	29名

会場・規模はその都度異なる

Let's Try MOGI 献血 (高校生)

【目的】

高校学園祭で青少年赤十字・保健委員等が中心となり、献血可能年齢である高校生等に対し献血の普及啓発を行うこと

【内容】

- 白衣・看護衣を着用して参加者の受け入れ
(受付、問診、事前検査、採血、カード発行)
- イベント参加への呼びかけ
- 着ぐるみ着用による啓発
- パネル展示
- 血液センター・献血ルームの紹介



受付



事前検査



問診



採血



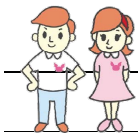
模擬休憩・MOGI献血カード発行



献血バスでMOGI献血



高校生とのコラボ



実績

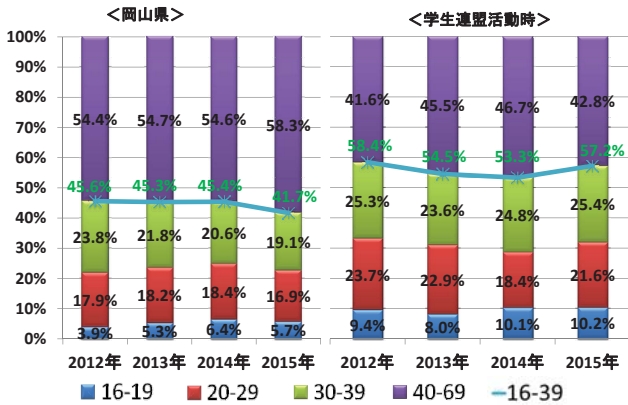
	2014年	2015年	2016年
実施回数	3回	実施なし	6回
実施日数	3日	実施なし	6日
参加者数(延べ)	555名	実施なし	406名
参加大学生数(延べ)	12名	実施なし	20名
参加高校生数(延べ)	71名	実施なし	150名

会場・規模はその都度異なる

S.B.D.Momo活動実績

年	2013	2014	2015	2016
会議(回)	15	14	16	15
献血(回)	13	13	12	8
広報活動(回)	3	3	5	3
啓発イベント(回)	6	9	8	13
活動合計(回)	35	33	38	40
医療系学生(人)	120	145	148	193
医療系以外学生(人)	48	72	63	144
加盟者合計(人)	168	217	211	337

S.B.D.Momo活動時の若年層献血率



考察

1 献血者の確保

2 献血思想の普及

3 S.B.D.Momoの今後

1 献血者の確保



若年層献血率増加

- 「若者から若者へ」の声かけ
- 処遇品やキャッチコピーのアイデア
- 会場の装飾
- 家族や大学内など周囲への協力の呼びかけ



2 献血思想の普及



献血疑似体験での普及

- 献血未経験者への疑似体験で流れ・必要性を周知

広報活動での普及

- S.B.D.Momo公式Facebookの更新
- 学生によるマスコミへの取材依頼・取材対応



3 S.B.D.Momoの今後



①献血への知識・意識向上

- 定期的に勉強会を行い献血の知識をつける
- 「若者から若者へ」の意識づくり

②メディア露出の強化(情報発信)

- SNS更新頻度を上げる
- 報道機関との関係づくり

③活動範囲の拡大

- 血液センター主催イベントへの協力
- 他団体との連携



ご清聴ありがとうございました



輸血を待っている患者さんのために頑張ります！